

第 12 回「順天堂大学医学部附属静岡病院への直通バスについて」

議員時代の昨年 6 月に、順天堂大学医学部附属静岡病院への直通バス運行の署名運動を実施しました。理由としては、①直通バスを望む声が多かったこと、②順天堂大学医学部附属静岡病院に限らず、沼津方面での受診者が非常に多いことが挙げられます。

町長就任直後、南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会を中心に交通事業者との交渉、トイレ休憩の必要性や既存の路線バス運行との調整をし、当初想定していた直通とは異なる、修善寺駅で伊豆箱根交通バスへの乗換という形になりました。実証運行を 4 月に開始し現在に至りますが、乗車実績は非常に低い結果となっています。

原因は私の乗車見込み予測の甘さもあったと思いますが、通院者の交通手段は家族や親戚の自家用車使用、あるいは友人同士が交代で乗り合う等の通院方式で、バスを利用しない人が予想以上に多かったことが要因と思われます。この実証実験は、10 月 31 日で終了となりました。今後については、南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会にて、検証結果をふまえ別の運行方法について検討してまいります。

本件とは別に、非常に好評で順調に運行している町内での買物等の支援タクシーについては、継続してまいります。